

地域社会との緊密な連携を築く

## 子どもたちの笑顔のために地域と協働するPTA活動

北名古屋市立白木小学校父母教師会（PTA）

### 1 はじめに

白木小学校は、北名古屋市の南部に位置し昭和55年に開校し、今年度43年目を迎える。

令和4年度の児童数は390名、学級数17（含む特別支援学級3）、PTA会員329世帯でスタートした。周りは田や畑に囲まれたのどかな環境の中、子どもたちが穏やかに学校生活を送っている。「かしこく（知）」「ただしく（徳）」

「たくましく（体）」の校訓のもと、児童一人一人が個性を発揮し、保護者、地域の方々から、温かく見守られながら楽しく学校生活を送っている。



【北名古屋市立白木小学校】

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

子どもたちを成長させるための様々な取組を行うためには、多様な人材が必要である。そこで、白木小学校父母教師会（PTA）は、地域や学校と共に協働・連携して、子どもたちの成長と笑顔あふれる白木小学校を目指し、以下の二つを柱として、本研究を進めることとした。

- 「安心、安全」が生み出す子どもたちの笑顔
- 「豊かな心」が生み出す子どもたちの笑顔

#### (2) 本校の現状

##### ① PTA及び学校運営協議会の組織

本校のPTA活動は次の3つの部会に分かれて活動を行っている。

- 厚生部**…花壇整備、除草作業などの実施と運営
- 研修部**…会員の学びを深める研修会・教養講座の計画・実施
- 郊外指導部**…通学路の危険個所の見直し、あいさつ運動の実施

##### ② 学校運営協議会による学校支援ボランティアの活動

本校では平成27年度より、学校運営協議会を立ち上げ、地域や保護者の願いや思いを学校教育に反映させ、地域とともに子どもたちの教育に当たっている。本校の学校運営協議会は、会長と地域学校協働推進委員を中心に以下の部会が活発に活動を行っている。

- 地域連携部** **環境整備部** **学習支援部** **図書部会** **広報・研修部会**

### 3 実践活動の概要

#### (1) 「安心、安全」が生み出す子どもたちの笑顔

##### ① 見守りボランティア

白木小学校は、8地区28通学団による分団登校をしている。PTAの地区委員が中心となって各家庭に協力を依頼し、地域のボランティアと共に、子どもたちの登下校時の安全を守るため、交通量の多い交差点に立っている。地元の企業の方も参加していただき、今では、常時、登下校の際に20名ほどの方が、付き添っている。子どもたちも、大人がいることで安心でき、笑顔いっぱいに登下校できている。



【見守りボランティア】

##### ② あいさつ運動

白木小学校では毎年5月、10月、1月にあいさつ運動を行っている。あいさつ運動中は、登校した児童も参加し、爽やかな挨拶の音が響く。また、通学団や集合場所で、あいさつ運動に参加していただいている方もおり、元気のよい挨拶から学校生活がスタートしている。



【あいさつ運動】

##### ③ 全校除草

年6回、全校除草を行っている。暑い夏の日でも、多数のPTA会員や地域の方の参加があり、校内の美化に役立っている。たくさんの雑草を、PTA会員や地域の方たちの手で除草し、子どもたちの学習環境を整えている。きれいになった学校で、安心して過ごせる子どもたちの笑顔がある。



【全校除草】

##### ④ ベランダのペンキ塗りできれいな校舎

校舎のベランダの手すりは、錆が目立ち、見栄えの悪さや安全性への懸念の声が聞かれていた。そこで、環境整備ボランティアの方が、ペンキ塗りをしてくださった。見違えるほど美しくなった校舎に、児童や保護者からは「きれいな学校になった。」「見栄えがいい。」という声が聞かれた。



【ペンキ塗り】

(2) 「豊かな心」が生み出す子どもたちの笑顔

① いちご狩りを楽しもう！

「いちごってこんなにおいしいの！」

白木小学校では、いちご狩りができる学校である。前年度の11月に、地域のいちごづくりの名人からの指導で苗植えを行うところから始まる。5月初旬、「甘熟」いちごを口にした子どもたちの笑顔があふれている。



【いちご狩り】

② 楽しい！おもしろい！読み聞かせ

学校運営協議会の図書部と協力し、年2回、学校の読書週間に合わせて、朝の読書タイムに、読み聞かせを行っている。動物の鳴き真似や擬音を入れるなど、毎回、工夫を凝らしている。その甲斐あって、読み聞かせの後には、「すごくおもしろかった。」「今度はいつなの？」という最高の誉め言葉を子どもたちからもらっている。



【読み聞かせ】

③ こんなに採れたよ！芋ほり体験

2年生では、生活科の学習で、土づくりから地域の方の協力をいただき、サツマイモを育てている。サツマイモの収穫の時には、PTAもボランティアとしてお手伝いをしている。

収穫の喜びを実感でき、サツマイモを手にした子どもたちの歓声が、秋の白木プラザに響いている。



【芋ほり体験】

④ 花であふれる白木小の花壇づくり

春と秋の年2回、校門前の花壇を花いっぱいにする活動を行っている。色とりどりの季節の花が子どもたちを出迎えてくれている。

「この花のなんていうの？」と尋ねる児童の様子も見られ、子どもたちの楽しいコミュニケーションにも一役買っている。

⑤ 池の水、全部抜く大作戦！

観察池の清掃を5月に行っている。これは「池の水、全部抜く大作戦」と銘打って行われ、ほぼ1日をかけて行われる。きれいになった池の周りには、子どもたちが楽しそうに笑顔で錦鯉を観察したりえさをやったりする姿が見られ白木小学校の憩いの場となっている。



【池の水、全部抜く大作戦】

#### ⑥ 白木あおぞら運動会

白木小学校の運動会を「白木あおぞら運動会」として、地域のスポーツクラブと合同で行っている。PTA委員も、場内整理、スポーツクラブと協力しての参加賞の準備や校門の飾りつけを行っている。

例年、保護者だけでなく、地域の方々も楽しく参加できる種目があり、大変好評である。毎年、多くの家庭から、「思い出に残る素晴らしい運動会でした。」という話を聞いている。



【運動会当日の校門の飾り】

#### ⑦ 読書好きが育つ図書整備

学校運営協議会の図書部が中心となって図書室の整備を行い、子どもたちが読書好きになるような取組を行っている。学校の読書週間に表彰する多読賞の副賞づくり、本の修繕、ファンタジーランド（低学年図書室）の飾り付けも行っている。多読賞の副賞は、子どもたちから大人気で、もらった子どもたちは、大切にしている。



【図書整備】

ファンタジーランドは、季節に合わせた飾り付けを行い、図書室を訪れる児童の楽しみの一つになっている。

また、各家庭や地域の方々から読まなくなった絵本や物語の本などを数多く寄付していただいている。各クラスに学級文庫として配付され、善意の本が、子どもたちの豊かな心を育てている。



【図書室の飾り】

### 4 おわりに

現在、社会は Society5.0 と呼ばれる IoT、AI、ビッグデータ、ロボットなどを活用した新たな社会に向かっている。ある民間の研究所は、2030年までに日本の現在の労働人口の49%がAIやロボットに変わる可能性が高いと予測している。しかし、「不易と流行」という言葉あるように、社会の仕組みが、いかに変わろうとも、変わらないものもある。それは、子どもたちの笑顔の素晴らしさであり、「それを守りたい」という大人たちの心である。そのような人々の熱い思いを基盤に、これからも地域、PTA、学校が共に協力、協働し、子どもたちの笑顔が溢れ、ますます輝く未来を作っていきたい。